

議事録

第3回 ひばりが丘中学校運営協議会(要点記録)
日時:令和7年9月13日(土)10時45分から11時45分 場所:西東京市ひばりが丘中学校2階 校長室 出席:加瀬 裕子 委員、照屋 朝 委員、河野 美晴 委員、福井 かな子 委員 原田 大作 委員、小林 大介 委員、武田 憲治 委員 井上 雅子 委員、村松 健 委員 欠席:鈴木 愛 委員
配付資料 第3回学校運営協議会 次第 学校評価アンケート結果(第1回) 令和7年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況
委員10名中9名の参加により本会議は成立
次第1 会長挨拶 ・「学校だより」等で学校の様子がよくわかる。 ・ひばりが丘中学校が地域の学校として、機能してきている。地域と学校の連携をさらに強くし、地域も一緒になって子どもを育て、最終的に子どもたちが‘ひばりが丘’に戻りたいと思う地域にしていきたい。
次第2 校長挨拶 ・先日 FM 西東京の 100 回記念イベントに3年生の生徒会長と副会長が参加した。その際、学校の魅力を①校舎がきれい②生徒が主体的に授業を受けている③先生たちが愛情をもって指導してくれると答えた。また、こんな風になってほしいという質問に「PTA、おやじ倶楽部、地域の様々な方々から職業講話、運動会などの行事のお手伝いなどたくさん助けてもらっているので、生徒が地域にもっと関わり、お返しできるとよい」という話をした。子どもたち自ら地域に感謝をしている。地域に恩返しをする場を考えていきたい。
次第3 学校アンケートについて ・ほとんどの項目で、昨年とほぼ同じ数字で、おおむね肯定的な意見をいただいていることは評価できる。「生徒は学校へ行くのが楽しい」では、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた数字は生徒は昨年とほぼ変わらないが、保護者の数字がかなり上がった。しかし「そう思わない」「わからない」の生徒が9%いることについては、生徒の様子の変化や気持ちに寄り添う働きかけが必要である。「学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる」という項目では、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて、生徒については95%で、多くの生徒が「学校はいじめがなく安心して安全な場所である」と感じていることについては大きく評価できる。しかし保護者については、76%と生徒の数字よりかなり低く、本校のいじめ対策に不安をもっていることを受け止め、今後も、全教職員が生徒の様子を見守り、日常の観察を丁寧に行うことと聞き取りによるいじめやトラブルの早期発見、生徒への教育的な支援を全校をあげて行っていかなければならない。 - また一人1台のタブレット端末が配布されて4年目となり、授業で毎日活用している。「決まりを守って使用することができている」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて、生徒は96%に対し、保護者は83%と昨年よりは上がったが、学

校及び家庭のルールを徹底していく必要がある。今年度は生徒会を中心に小中で共通して取り組んでいる。また「タブレットを家庭学習でも活用している」では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、生徒は 55%、保護者は 44%と昨年と変わらず課題である。

→いじめについて低い評価をしている生徒に対して追跡調査等を行っているか。

- ・学期に1回のいじめアンケート、月1回の生活アンケート等を行っている。学校あげて、生徒に寄り添い、いじめゼロに向けて取り組みを行っている。

→P 保連のアンケートについて、学校として要望はあるか。

- ・例年通り、自由記述でお願いしたい。

次第3 学力調査の結果について

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について説明を行った。数学、国語、加えて今年度は理科も実施。各教科の平均正答率では、都平均を例年通り上回り、普段の授業の落ち着いた雰囲気や子どもが主体的に学ぶスタイルがこの成果につながった。4分位数をみても、勉強が苦手な子どもたちの学力の底上げができてきている。課題としては、上位層をさらに引き上げることである。数学では、発展的な問題解決型の授業を実施したり、探究的学習を取り入れていく。国語では、読解力の深化、表現力の強化、批評・対話的活動を計画的に実施していく。また、タブレットを活用し、探究を深め、自分で学びを設計できるようにしていきたい。

次第4 その他

- ・ひばり祭りについて 11月30日(日)予定
- ・ひばりリンピックについて 10月13日(月)予定
- ・ひばりカフェについて 110名の生徒が参加。
- ・おやじ倶楽部の活動について
- ・家庭科部の介護施設の訪問について

※本日は、協議会の議事は特になし。意見交換と情報交換、今後の予定の確認を行った。